



千八百七十八年八月三日刊行
東京タイムズ新聞抄譯

日本獨立主權回復ノ手段



4160





日本獨立主權回復ノ手段

堀口昇譯

大正十一年四月

我輩ハ前週刊行ノ我新聞紙上ニ曩者日本政府カ外交事務擔任者ノ外交ノ機務ニ慣レサル過失ニ由テ蒙リタル艱難及テ被害ノ教項ヲ細記詳論スル所ノ社説一編ヲ掲録スルニ當テ固ラス若レ日本政府カ外國ノ束縛ヲ脱去センノ志ヲ固執シテ動カズ誠ニ能ク一和シテ之ヲ敢行セハ獨立主權ノ回復ハ難事ニ非ルヘキニ論及セリ

我輩ノ見ル所ニ由レハ日本政府ク久シク其獨立主權ヲ嘗同ニ附シテ之ヲ外國ノ指揮ニ委託シタリト雖モ最早之ニ度外ニ措ク能ハス之ヲ回復セサルヲ得スト外邦ニ向テ報告セハ何時ニテモ今日ノ如キ不條理ノ景狀ヲ消過スルヲ得ヘシト信ス

蓋レ日本ニ公使ヲ派遣セル外國政府ハ概テ甚シキ故障ヲ之ニ

大正十一年四月

加へサルヘク又二三ノ外國ハ反テ信實ニ其拳ヲ讚成スヘシ
英國ノ如キハ其公使ノ勸メニ因テ曾テ其期望ヲ遂ケ得タル計
策ニシテ蓋シ今日モ猶ホ其目的ヲ達スヘシト信スル威迫劫嚇
ノ騙術ヲ必然採用スヘシト雖モ敢テ詭クマテモ之ニ故障ヲ為
サ、ルヘレ
然レモ成功ノ確然タルニ係ハラズ概シテ日本政府ノ官吏カ断
乎タルノ所置ヲ用ヒンテラ忌嫌スルハ數回我新聞紙面ニ揭示
セル所ナリ
日本政府ノ官吏中ノ或ル者ハ万国公法ニ通曉シ能ク其精理ヲ
識知スルヲ以テ佞令日本政府カ此ノ如キ回復ノ所置ヲ決行ス
ルニヨリ至極困難ノ場合ニ至ルト雖モ只暫時ノ紛擾ニ過キサ
ル所以ヲ悉知セリ
又其官吏中ノ或ル者ハ早怯ニ重大ノ葛藤彌久ノ紛議ヲ生セン

テラ恐懼シテ此ノ如キ回復ノ所置ヲ決行スルヲ欲セス
故ニ当令日本政府ハ其獨立主權ヲ回復スルカ爲メニ此ノ如キ
方略ヲ行フテ能ハサルハ明瞭ナリ
然レモ他ニ其獨立主權ヲ回復ス可キ便宜ノ方略ナシト思慮ス
ヘカラス
爰ニ日本政府カ採用スルテラ得ヘキ方略ニシテ克ク其目的ヲ
達スヘキモノ數多アリ而シテ其中若干ノ如キハ時ニ論ナク成
功スヘキ區域内ニ在ルヲ以テ致意シテ其得失ヲ論究セサルヲ
得ス
其最モ著明ナルモノハ日本政府カ西國ノ一政府ト全ク新條約
ヲ訂盟シ兩國互ヒノ利益ヲ議定シ其條約ニ加入セサル諸國ヲ
拒絶シテ此利益ヲ得マシメサルニアルナリ
此ノ如キ條約ヲ訂盟スルニ因テ日本政府ハ外國公使ヲ合劫嚇

ヲ絶断スルニ至ルヘシ其連合恐嚇タルヤ前日ニ於テ敵スヘカ
ラサル勢カヲ以テ行ハレ曾テ正直ナル一公使ノ為メニ擯斥蔑
視セラレタルニ係ハラズ今日モ猶ホ緊要ナル政畧トシテ回執
セラル
所謂新條約ハ是レ日本國カ其條約國ト利害ヲ共ニスヘキ盟約
ナリ故ニ或ル政府カ日本國ノ利益ヲ妨害セント企ルハ乃チ
又其條約國ノ利益ヲ妨害セサルヲ得ス是ヲ以テ其政府ハ一國
ヲ敵トスルニ非ラスシテ二國ヲ其敵ト為サハルヲ得ス
此條約ニ追起スヘキ結果ノ著明ナルモノヲ枚挙スルハ敢テ難
キニ非ルナリ
道理上ヨリ論スレハ日本政府カ何レノ國ト其盟約ヲ要ム可キ
ヤノ問題ハ左ヤテ緊要ノモノニ非ルナリ
顧フニ英吉利ハ日本政府ノ同盟トナラサルヘシ何トナレハ英

吉利ハ貿易ノ資産ニ富ミ又貿易上ノ要件ニ欠クル所ナキヲ以
テ決シテ自ラ画策セル貿易上ノ政畧ヲ容易ク變更セサルヘケ
レハナリ
日本國ニ駐劄スル英國政府ノ代理者カ其本國政府ヲシテ其希
望スル所ハ公使ノ手ヲ經テ尽ク必行スルヲ得ヘシト信用セ
シムルノ間ハ英國政府ハ曖昧不定ナル利益ノ為メニ現然巨大
ノ損失ヲナサハルヲ得サル新條約ヲ訂盟スルヲ擯斥スヘシ
然レハ佛蘭西或ハ日耳曼或ハ亞米利加合衆國ハ宜シク日本政
府ト新條約ヲ訂盟スルヲ肯ンスヘシ
自然日本政府カ條約訂盟ヲ要マル所ノ國ハ強國ナラサルヘカ
ラス何トナレハ若シ然ラサレハ貿易大王（訳者曰ク英國）ハ其條
約ヲ輕侮スヘケレハナリ
我輩ハ試ミニ日耳曼或ハ佛蘭西カ日本政府ト新條約ヲ結ビ其

輸入物ヲ無税ニシテ送入スルヲ許諾シ日本ハ又日耳曼或ハ佛
蘭西ノ國產ヲ無税ニシテ輸入スルヲ許シ且其他便宜ノ方法
ヲ以テ内地ニ於テ其物品ノ賣拂ヲ助成スヘシト約定セリト假
想セシ
蓋シ此ノ如クスレハ荏苒ト雖モ必然英國ヲ首メ此條約ニ加入
セサル諸國ノ等則ニ看過スルヲ能ハサル一種ノ貿易ヲ生スヘ
シ
此ノ如キ場合ニ於ケルモ天寵優渥ノ國譯者曰ク英國ハ正シク
何ホノ請求ヲモナスヲ能ハサルヘシ何トナレハ日本國內ニ無
税ニシテ物品ヲ輸入スルノ特權ハ特ニ約定ニ由テ得ヘキモノ
ニシテ條約ニ加名スルニ非ラズンハ得ヘカラサルモノナレハ
ナリ
或ハ我輩ハ日本政府カ亞米利加合衆國ト彼ノ新條約ヲ調理シ

タリト假想セシ

是日本政府カ日耳曼或ハ佛蘭西ト其條約ヲ訂盟セルヨリモ我
輩ノ一層歡喜スル所ニシテ且亞米利加人民ノ日本人民ト同病
相ニ患ナルノ心アルト合衆國ノ日本ニ接近ナルト及ニ其日本
帝國ノ貿易上ノ要求ニ應スヘキ優等ナル資産ヲ有スルト併
テ考フル時ハ日本ノ為メニ一層有益ナル條約ナルヘシト信
ス
其互ニニ便益アル新條約カ公卒ニ實施ナレタリト假想セヨ
我輩按スルニ日本國產ノ第一タル茶ノ數百万円ハ年々無税或
ハ無税ナラサルモ販賣ノ故障トナラサルカ如キ廉價ヲ以テ亞
米利加諸港ニ入律スヘシ
又既ニ合衆國カ常ニ日本ヨリ重モニ購求セル便益ニ供レ或ハ
裝飾ニ採用スヘキ數多ノ物品ハ大ニ其輸入ヲ増殖シ加フルニ

是迄高價ナルカ爲メニ米人ノ購求スルヲ好マサリレ候モ無
税ノ爲メニ其價直ノ幾分ヲ低下レ米國ニ於テ其賣口最モ宜シ
カルヘシ
之ニ反シテ我輩米人ハ日本ニ於テ亞米利加産ノ物品ノ海関税
ヲ除去スルヲ視又日本ニ於テ我國産ノ賣拂ヲ輕便ナラシムル
爲メニ設立スル其他種々ノ便宜ヲ看ルヘキナリ
現今ノ狀況ヲ以テ之ヲ見レハ亞米利加製造物ヲ日本國へ輸入
スルハ甚ク大ナラスト強ク新條約ニ由テ貿易ノ景况一變スル
ニ當テハ必然其高ヲ增益セサルヲ得ス
凡ソ日本カ英國ヨリ購求スル物品ニシテ亞米利加ヨリ同一ノ
價格ヲ以テ輸入シ能ハサルモノハ非ルナリ
凡ソ貿易ハ慣習セル旧渠ヲ流通スヘキモノナリト雖モ貿易品
ノ價格廉低ノ如キハ之ヲ其旧渠ヨリ驅逐スルニ充分ナル原因

ト云フヘシ
故ニ海関税ヲ除免サルハニヨリ合衆國産ノ木綿毛織物製製品
及ヒ器械等ハ日本ニ於テ必ス歐羅巴ヨリ輸入セル同上ノ物品
ヲ驅逐シテ其位地ニ換ハラシ
最早英國製造者ハ日本ニ於テ物品ヲ專賣スル特權ヲ收領スル
ヲ得ル迄其物品ヲ以テ日本ニ運輸シ競者ヲ尽ク壓倒セントノ
慣習ノ後黨ヲ結フヘキ勢カラ有セサルヘシ
何トナレハ若シ其專賣權ヲ得ント欲セハ亞米利加製造者ハ無
税ノ後援アルヲ以テ直ニ之ヲ收領スヘキ充分ノ準備ヲ有ス
レハナリ
我輩ノ見ル所ニ由レハ日本カ此ク定メタル貿易ノ條約ハ何オ
ハモノト強ク妨害スルヲ能ハサルヘキナリ而シテ此條約ハ日
本ヲ以テ論スレハ勿論現時ノ貿易條約ノ改良ニシテ又合衆國

ノ支持ヲ蒙ルヘキ理由アルナリ
我輩ハ日本政府カ合衆國ト新條約ヲ訂盟スルヨリ生スヘキ貿易ノ顯象及結果ノ記載ヲ最早此函ニ附キ政事工ノ結果ニ論及セント欲ス
我輩ハ政事工ノ結果ヲ以テ貿易上ノ結果ヨリ一層深ク注意スヘキモノトナス而シテ其結果ヲ察スルニ皆日本ノ為メニ賀ス
イ祥瑞ヲ有セリ
日本政府ト新條約ヲ訂盟セル合衆國政府ハ之ニ由テ特別ヲ得ルヲ以テ日本政府カ其條約ニ加入セサル諸國ノ輸入品ニ其欲スル税額ヲ賦課スヘキ獨立主權ヲ認可シ之ヲ支持保存スルハ理ノ当然ナリ
而シテ日米ノ關係日々愈々親密ナルニ隨ヒ自然外國ニ於テ日本政府カ長ノ剝奪ナレシ獨立主權ヲ回復センカ為メニ陳述ス

ル條理アル要求ヲ認可スヘキ眞勢ヲ生スルニ至ルヘシ
英國ハ日本関税ノ過高ナルニ関シテ云々スルヲ得ヘシト雖モ合衆國カ訂盟セルト同様ナル新條約ヲ結ハスレテハ苟モ日本政府ニ向ヒ無税輸入ヲ要求スルヲ能ハサルヘシ
顧フニ此一点ニ於テハ如何ニ英國カ傲慢ナリ頑固ナリト安ん居セサルヲ得サルハ固ヨリ論ヲ俟タサルナリ
此國政府ハ其貿易カ日本ノ地ヲ驅逐セラレテ他郷ニ趣クヲ見シヨリ寧ロ日本政府カ要求スル義務ヲ承諾シ凡テ緊要ノ認可ヲ讓与スルニ至ルヘシ
此ノ如クニシテ日本政府ハ獨立主權回復ノ目的ヲ達スルヲ得ヘシ
日本政府ハ外國ニ与ヘタル特別ニシテ限制アル權利ノ代償トシテ已ニ英國等ニ消滅セラレタル其獨立主權ヲ確収スルヲ得

へレ

日本政府ハ只互ヒノ便益ヲ為メニ取極ムル有期ノ條款ニ隨フ而已ニレテ其海関稅ノ充分ナル取納權ヲ回復スルヲ得ヘレ

日本政府ハ又治外法權ニ係ハル紛議ヲ解キ至當ノ期限ヲ預定シテ其條約ヲ議定スルヲ得ヘレ

英國カ其不正ナル固陋ノ持論ヲ放棄スルト同時ニ外國公使等連合シテ日本政府ノ獨立主權回復ヲ妨害スルカ如キ謀畧ハ殆ント地ニ墜ツヘレ

以上我輩カ簡畧ニ説キ明シタル回復手段ハ必ラス上文ニ列記セル結果ノ他ニ別事ヲ生セサルヘレ而レテ上文ノ如キ結果ヲ取獲スルハ賢明銳進ナル日本政爭家カ變スヘカラサル忍耐クト動カスヘカラサル決心トヲ以テ後事スヘキ貴重ノ目的ナリ

